

# 牛久：学校周辺に見る自然

第28号 ひたち野みずべ公園（ひたち野うしく小）

2022年1月30日発行

## < 秋のみずべ公園 ～鳥 >

みなさん、こんにちは。今回は11/4、ひたち野うしく小みずべ公園、秋の観察で見られた生き物たちを紹介（しょうかい）します。今回もほぼ名前だけを載（の）せますので、どんな生き物なのか自分で調べ学習し、春や夏との違い（ちが）も確認（かくにん）しましょう。気温は17℃でした。まずは鳥の仲間から。



冬鳥が来ていました。目だつのは、マガモのおす。めすは目だたないので、おすといっしょにいないと気がつかないかもしれませんね。

↑ 冬鳥、マガモのおす。

他にはハシビロガモとコガモもいました。どちらもおすは冬の羽に生えかわるとちゅうで、めすとの見わけがむずかしいかもしれません。カモの

← 冬鳥、マガモのおす（上）とめす（下）。

仲間（なな）は、だいたい冬鳥と考えていいでしょう。



↑ 冬鳥、ハシビロガモのおす（右）とめす（左）。 ↑ おす。

↑ コガモがまじっています。



ただし、黒いくちばしの先が黄色のカルガモは、一年中日本にいます。特ちょうあるので、まちがえることはないでしょう。

← 一年中日本にいる、カルガモ。ヒナをつれてのお引越（ひきこ）しでも有名。

その他に池で見られた鳥は、アオサギ、カワウ、カイツブリでした。



日本最大のサギ、アオサギ。



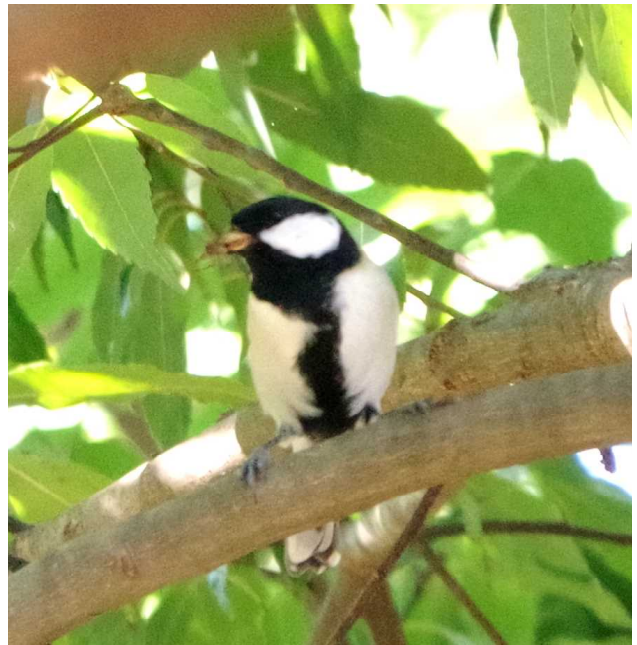
↑ よく、岩の上にいるカワウ。魚を丸飲みします。



↑ ハトよりも小さいカイツブリ。よくもぐります。

おもに林の中にいたのは、シジュウカラとヤマガラ、そしてセグロセキレイやハクセキレイ、モズなどでした。おおぜいで歩いているとなかなか姿を見せてくれませんが、かくれて待っていると出てきてくれます。一人では危ないですが、時には少人数で歩いてみるのもいいかもしれませんね。

【理科支援員：宮内】



おもに林の中にいたシジュウカラ（上2枚）、ヤマガラ（左下）、セグロセキレイ（右中）、モズ（右下）。